

令和7年度 第2回岡山県立図書館協議会

日 時：令和8年2月26日（木）14：00～16：00

場 所：岡山県立図書館 サークル活動室

出席者 ○委員：秋山委員、工藤委員、近藤委員、関委員、平井委員、森田委員、山口委員

○県立図書館：大西館長、笠原副館長、藤原総括参事（総務・メディア課長）、
松本総括参事（図書館振興課長）、隈元資料情報課長、神田サービス第一
課長、鳥越サービス第二課長、井関総括副参事（企画・メディア班長）、

欠席者 ○高野委員、本藤委員、湯澤委員

1 開会

2 開会挨拶 県立図書館 大西館長 挨拶

3 資料確認

4 協議・報告

(1) 令和7年度事業実績について 資料1

資料に基づき、事務局説明

【委員】

林原美術館との共同イベントは非常に興味深い。近隣には美術館や博物館があるので、こういう共同イベントや、関連する資料の展示を今後もぜひやってほしい。

【委員】

県立図書館からの声掛けで教育との連携がどんどん進んでいる。事業実績にも新規事業として学校との連携がたくさん挙げられているし、研究会等でも学校に協力いただきありがとうございます。これからも続けてほしい。

【委員】

学生のおはなし会の実践はすばらしい。ぜひ今後も進めてほしい。

【委員】

おはなし会のボランティアはあるのか。

【事務局】

読み聞かせやストーリーテリングのボランティアがある。県立図書館に限ったことではないが、ボランティアの方がだんだん高齢化していて、次世代の育成が課題であると聞いている。若い世代に積極的に図書館に出向いて実践してほしいと考えているので、まず県立図書館で児童資料班の職員が読み聞かせについて学生にレクチャーして、それから実践してもらっている。学生が市町村の図書館へ出向く機会があれば、橋渡しができれば

と考えている。

【委員】

雑誌スポンサーの実績はどれくらいか。どの程度効果があるのか。

【事務局】

令和6年度末現在で34の企業・団体から、93誌に広告を掲載している。金額は約100万円で、だいたい横ばいで推移している。

【委員】

スポンサーがやめるということになった場合は、県が雑誌を買うことになるのか。

【事務局】

県の負担で購入する。

(2) 令和8年度当初予算案の概要 資料2

資料に基づき、事務局説明

【委員】

資料整備費は過去には1億あったが減っている。全国トップクラスで頑張っているが、利用への影響も出てくると思う。資料整備費を増やす方策はないか。

【事務局】

元の規模に戻すのは非常に難しいと思う。資料整備費は下がってきているが、全国ではまだ上位にあるので、財政当局としてはまだ多いと考える可能性は高い。

新たに電子書籍を導入してみることになったが、今後どういう蔵書構成を目指していくのか、市町村図書館で扱っている本も県立図書館で扱えるという状態がいつまで続けられるのかという危機感があるので、県庁や県議会などへのアピールや、県民の皆様にも図書館は役に立つ、便利であるということを理解していただく努力は必要であると思っている。

【委員】

読書バリアフリー推進事業に関して、電子書籍は毎年コンテンツを追加していかないと新鮮度が下がる。費用がかかるので運用面が心配である。

【事務局】

新しいコンテンツは追加する必要がある。2年、3年ぐらいはこのまま予算要求していき、その後は実際の利用実績などを加味して、単発ではなくある程度継続的に要求していく。

【委員】

義務的経費が上がっていく中で、予算獲得に努力していると思う。PBLなどは知事も含めて注目度が高いと思うので、学校への貢献もぜひ説明の資料として活用してほしい。

【委員】

多言語資料相談の内容はどういったものか。

【事務局】

英語、中国語、韓国語の3言語の相談員に来ていただき、外国語資料の書誌作成、館内のサインや利用案内の翻訳、選書の手伝いをしてもらっている。また、問合せに外国語で回答しなくてはならないような場合にも手伝ってもらっている。

【委員】

県立美術館や公民館ではやさしい日本語の講座が行われている。

【事務局】

バリアフリーコーナーでやさしい日本語の表示をするなどしており、職員も勉強している。これからも導入を進めていく。

(3) 岡山県内市町村立図書館の動向 資料3

資料に基づき、事務局説明

【委員】

ICタグのメリットとデメリット、県立図書館での進捗状況を教えてほしい。

【事務局】

井原市立図書館の一部で導入しており、蔵書管理がスムーズであること、学校や他館と連携しやすいことがメリットである。デメリットは経費がかかることである。県立図書館での導入は難しい。

【委員】

マイナンバーカードとの連携はとても便利なのではないかと思うが、どのくらい利用されているか。

【事務局】

連携して5年ほど経つが、登録は少なく、月に数人程度である。マイナンバーカードは専用の機器がないと読み込めないため、あまりスピーディーに使えない。また、マイナンバーカードだけでは利用者番号がわからないので、ログインするときなどは不便である。それほど便利になっていないというのが実感である。

【委員】

県内の図書館ではどれくらい導入しているのか。

【事務局】

半分くらいではないか。増えてきてはいる。

(4) 令和7年度Webアンケートの結果（概要） 資料4

資料に基づき、事務局説明

【委員】

自習席の要望が多く出ている。

未利用者層の意見を集めたいとのことだが、未利用者はつかみどころがないので、あまりこだわらなくてもよいのではないか。市町村を通した利用促進も必要だと思う。

(5) 岡山県立図書館第5次中期サービス目標 資料5

資料に基づき、事務局説明

【委員】

見やすく改善され、皆さんが共有できるものになっている。

指標も、よいものを選んでいると思う。

【委員】

指標がわかりやすい。予算の厳しい状況や人口減もあり現状を維持するのは大変な努力が必要だと思うが、意欲的な数値目標である。地域の図書館や学校のセンター機能を果たすこと、デジタル化や学校図書館の支援にも力を入れていくという、今後の県立図書館の方向性が見えるような指標になっている。県立図書館の意欲が伝わってくる。

【委員】

数値化は、達成できなかったときの批判も覚悟しないといけないこともあり悩ましい。ぼんやりした目標になってしまう場合もあるが、今回はっきりと数値を出している。

【委員】

ゾーニングに関して、自習室がほしいという意見があるようだが、今の自習室に加えて閲覧室に自習席をつくるのか。

【事務局】

まだ館内で検討できていない。学びのしかたも変わってきており、タブレットを使いながら館内資料も使って学習していくという状況も見受けられる。新しい学び方として、図書館も使えるということを伝えていきたい。ゾーニングについてはいろいろな年代の方からご意見をいただいているので、もう少し見直しをしていきたい。

【事務局】

市町村図書館も含めて自習席のニーズはあり、自習室を設けてきている流れがある。県立図書館では、以前のように閲覧席が埋まってしまうことも最近はあまりなく、以前は、図書館の資料を使う方のために席を譲るよう声掛けをせざるを得なかったが、今は自習だというのがわかっても声掛けをしていないのが実態である。

カウンター周りの会話がある部分と、閲覧席の静かな部分というようなゾーニングは最終的にある程度できたらいいと思う。いろいろなご意見を聞きながら取り組んでいきたい。

【委員】

A Iの技術が世界を席卷しており、企業や行政、学校でも活用している。図書館でも使っていると思うが、今回の資料の中にはA Iについてあまり出てこなかったようだ。どういうものに使っていくのか、取組について教えてほしい。

【事務局】

資料作成等に活用し、館内で研修も行っている。A I の活用は積極的に進めていきたい。レファレンスなど図書館の機能としての部分でもA I とうまく共存していくことが大事だと思う。

【委員】

企業ではA I の導入によって人員の削減や、職業自体がなくなるという危機感を持っているところもあるが、図書館でも人員削減などの可能性は考えているか。

【事務局】

可能性がなくはないと思うが、A I に負けない司書を目指す。正しい情報を的確に得るために、図書館の資料はとても強い味方である。司書が資料にどうつなげていくかが大切だ。

【委員】

ゾーニングについて、自由に議論するスペース、相談や勉強をしたりアイデアを出すスペースなど、可能なら自習ではなく議論、創造的空間が図書館にあってもよい。試みにやってみてはどうか。しゃべってもよい学びの空間の工夫を考えてみてほしい。

【事務局】

現在、意見交換できる場としてはグループ研究室がある。そういう場を閲覧室の中に取り込んで配置していくのが今の流れである。今後の検討課題としたい。

【委員】

A I は確かに便利だが、レファレンスはやはり人に対応してほしい。検索すれば自分で調べることはできるが、せっかく図書館に来ているので、司書に相談したい。レファレンスのクオリティが高ければ高いほど次の利用につながる。

中期サービス目標 1 3 ページからの箇条書きの記載は 1 字ぶら下げにすると読みやすくなる。

また、県北の図書館が充実するようもっと支援してほしい。

【委員】

ロードマップの中で、基本的性格 4 の③「子どもに関わる大人への支援」として、2 0 2 8 年頃から環境整備を行うとなっている。来年度から県庁内に保育施設が設置されるが、そこと連携する動きはないのか。

【事務局】

具体的な動きはないが、お話があればぜひ協力できるところはしていきたい。

(その他意見・情報交換)

意見なし